

令和2年度 常滑市社会福祉協議会 事業報告

令和2年度における常滑市社会福祉協議会の主たる事業を、次のとおり報告します。

【1】ボランティア活動等育成事業の推進

- (1) ボランティアセンターの運営
登録グループ 80グループ 7,837名
- (2) ボランティア団体等の支援
常滑市ボランティア連絡協議会の活動支援
- (3) 各種ボランティア講座等の開催
市民を対象にボランティア講座等を開催しました。

① 手話奉仕員養成講座 入門編（手話奉仕員養成事業）

期	間	（昼の部）	（夜の部）	令和2年10月～3年3月	各全20回
場	所	とこなめ市民交流センター	常滑市（協力）	知多地区聴覚障害者支援センター	
共	催	修了者	昼の部6名、夜の部5名		

② 障がいがある人と地域を結ぶイベント（自発的活動支援事業）

期	間	令和3年3月19日～3月30日
場	所	とこなめ市民交流センター
主	催	常滑市
内	容	障がいの有無にかかわらず、共通のテーマを絵や言葉で表現することを通じて、障がいのある方の自己表現の場と地域の障がいへの理解促進を行いました。市内の障がい者通所施設を利用する方などが三角旗に絵などを描き、約200枚を交流センターロビーへ展示しました

(4) ボランティア保険の加入促進と助成

ボランティア活動時の傷害及び賠償事故を補償するために、ボランティア保険の加入促進を行いました。

ボランティア保険加入者数 1,032名

【2】福祉教育の推進

- (1) 市内の各小中学校での福祉教育活動へ協力しました。

福祉実践教室の開催

市内5小学校の児童生徒が車椅子介助、手話等を体験しました

- (2) 平和を考える事業の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

【3】社会福祉協議会の広報活動

広報紙の発行やホームページ上で行いました

- ・ 広報紙「和の福祉」を令和2年8月、令和3年3月に市内各世帯に回覧しました。
- ・ 法人全体のホームページ、また高齢者支援に関するホームページを運営しました。

【4】児童・母子父子福祉の推進

(1) おもちゃ図書館の開催

おもちゃ図書館ボランティア「ぼっけ」の運営協力により、おもちゃ図書館を開催しました。

開催回数 20回（毎月第1・3木曜日）（会場 とこなめ市民交流センター）

利用者数 延べ 878名

(2) ファミリーサポートセンター事業の運営

地域での子育て支援として、地域の会員同士での子育てを助け合う事業を実施しました。

令和3年3月末会員数 119名 2年度延べ活動件数 369件

(3) 母子家庭等日常生活支援事業の実施

母子家庭等へ生活援助が必要な場合に支援員を派遣する事業を実施しました。

(4) 養育支援訪問事業の実施

養育支援訪問員（ヘルパーなど）を派遣しました。

(5) 子ども会活動の支援

常滑市子ども会連絡協議会の事務局として子ども会活動を支援しました。

・地区子ども会数 14子ども会

・綱引き大会などイベントは中止しました

(6) 里親ボランティア活動の実施

児童養護施設で暮らす子どもたちを支える里親ボランティア活動を実施しました。

(7) 学習支援事業・子どもの居場所の実施

生活保護世帯や母子家庭などの子どもへの勉強をサポートするとともに、子どもの居場所として3ヶ所（西之口・瀬木・樽水）を運営しました。瀬木地区では食事の提供を行いました。樽水地区は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部イベントのみ開催しました。

延べ 82回開催・430名参加

(8) 放課後児童健全育成クラブの運営

保護者が就労している小学生を対象に放課後や夏休み等に生活・遊びの場を提供しました（主として小学3年生以上の児童を対象）。

・名称 リトルバード児童クラブ（場所）西之口地区（鬼崎北小学校区）

・延べ利用者数 2266名

(9) ラーニングルームの運営

中高校生の自主的な学習を支援するため、自習ができる場を定期的に行いました。

・期間 令和2年12月～3年3月（週2回 延べ26回開催）

・会場 西田コンサル不動産内「輝きホール」（新開町）

・利用者数 延べ22名

【5】高齢者福祉の推進

(1) ひとり暮らし高齢者の昼食会「語ろう会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により従来の集合方式ではなく、申込者へ生活改善協議会による手作りのお弁当を届ける方法で実施しました。

・実施期間 令和2年12月8日～10日

・共催 常滑市生活改善協議会

・配付先 一人暮らし高齢者 延べ284名

- (2) 敬老の日協賛事業
 教え100才以上の方に敬老金(3,000円)を贈呈しました。
- (3) 介護用品購入券(クーポン券・在宅介護応援券)の贈呈
 要介護の高齢者や身体障がい者等の方に介護用品購入券を贈呈しました。
 ●介護用品クーポン券(常滑市より支給)
 利用できる方 要介護度4以上の方で市民税非課税世帯に属する方
 利用者数 延べ255名
 ●在宅介護応援券(社会福祉協議会より支給)
 利用できる方 おおむね65才以上の方で要介護2以上の方など
 利用者数 延べ1,354人
- (4) 介護用品の貸出
 介護が必要な高齢者等の方に車イスを貸出しました。
 延べ利用件数 112件
- (5) 配食サービスの実施
 食事づくりが困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等の方に、月曜日から
 金曜日まででの夕食をお届けしました。配達は協力員の方にお願ひしています。
 利用者数 延べ131名 配食数 延べ2,133食
- (6) 安心見守りサービスの実施
 ひとり暮らし高齢者等の方を対象にセンサー等の設置により、24時間体制で
 日常的な安否確認と緊急時対応を行いました。
 利用者数 延べ793名 緊急対応回数 延べ7回
- (7) 軽度生活援助サービス事業の実施
 要介護認定で自立となった一人暮らし高齢者へヘルパーが清掃・買い物等の
 支援を行いました。利用者数 延べ12名
- (8) 日常生活自立支援事業の実施
 認知症高齢者、知的障がい者等で判断能力が不十分な方に福祉サービス利用
 援助等を行いました。令和3年3月末利用者数 1名
- (9) ふれあい活動への助成
 地域での自主的なふれあい活動(ふれあいサロン)に対し、活動運営費を助成
 しました。助成活動数 22ヶ所、延べ参加者数 7,318名
- (10) 結婚を祝う会(共催 常滑市)
 新型コロナウイルス感染拡大の影響により従来の式典方式ではなく、申込者
 へ記念品等を送付する方法で実施しました。
 ・送付日 令和2年11月22日
 ・送付先 結婚を迎える夫婦 108組
- (11) 地域見守りネットワークの実施
 認知症高齢者の行方がわからなくなった際に、登録された地域サポーターへ
 メールなどで捜索協力を呼びかけ、地域での見守りを行いました。
 地域サポーター数(メール・ライン・FAX) 553名 呼びかけ件数 延べ2件
- (12) 老人クラブ活動の支援
 常滑市老人クラブ連合会の事務局として老人クラブ活動を支援しました。
 ・地区老人クラブ数 21老人クラブ
 ・グラウンドゴルフ大会など一部の行事を除き、中止しました
 地域包括支援センター(高齢者相談支援センター)の運営
 高齢者の総合相談窓口として各種相談・支援、地域での介護予防を推進する

ため、新たな運動方法の企画の実施、また認知症に関する理解促進のための各種事業を実施しました。

・延べ相談件数 4,989 件

・チームオレージ登録者数 5 名（認知症理解促進のためのボランティア）

・認知症初期集中チーム（チーム内での情報共有等を実施）

(14) 介護予防・生活支援体制整備事業の運営（生活支援コーディネーター）

高齢者が自宅・地域で安心して生活し続けられるよう、運動の場やサロンの介護予防活動と軽易な生活上の手助け（ゴミ出し等）などの生活支援活動を住民とともに推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、ボランティアの養成やイベント等を開催しました。

・地域ボランティア登録数 201 名 延べ活動件数 1838 件

・地域での介護予防イベント等の実施

・ふれあいお便り（大野・大谷・矢田・小鈴谷地区で実施）

・ご近所ウオーク（蒲池・榎戸地区で実施）

(15) 地域安心生活検討会の実施

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(16) 高齢者健康づくり支援事業（スマイルポイント）の実施

高齢者の健康づくり（介護予防）を推進するため、運動やボランティア活動へ参加した際にポイントが付き、貯まると商品券と交換する事業を実施しました。

・登録者数 4,371 名

・登録団体 246 団体（運動系 167 団体、ボランティア系 79 団体）

(17) 地域の居場所運営（大野地区）

大野地区の旧「はっぴい広場」にて地域の高齢者などが気軽に立ち寄れる居場所を月 3 回開催し、介護予防事業や交流事業を実施しました。

延べ開催回数 18 回 延べ利用者 112 名

(18) 認知症に関する啓発事業

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(19) 小規模の交通過疎地への移動支援事業の実施

青海町、桧原地区、多屋団地地域において住民等とともに移動支援事業を試行的に実施し、必要性等を検証しました。

① 青海町

期間 通年

内容 青海ボランティア隊が実施する「青海無料バス」へ車両の貸し出しや経費の一部負担等を行いました。

② 桧原地区

期間 令和 2 年 7 月～

内容 桧原地区の高齢者を対象に南部包括支援センターやサンレータクシー等と協力して、桧原地区から知多バス停留所まで送迎を行いました（毎週火・金曜日に実施）

利用者数 延べ 68 名

③ 多屋団地

期間 令和 3 年 3 月～

内容 多屋団地の高齢者を対象に町内会やサンレータクシー等と協力して、多屋団地から買い物や通院等の送迎を行いました（毎週火・金曜日に実施）。

利用者数 延べ23名

(20) 福祉有償運送の実施

要介護者や障がいのある方を対象に通院等を有償で行う福祉有償運送を実施しました（令和3年1月より実施）。

- ・延べ利用件数 151件

【6】障害福祉の推進

(1) 障害福祉サービス（地域生活支援事業）の実施

障害者総合支援法での障害福祉サービスとして、また地域生活支援事業としてのサービスの実施しました。

- ・居宅介護事業・移動支援事業（ヘルパー）

※居宅介護事業等は令和3年3月で終了しました

- ・ワークセンターかじま（就労継続支援B型）※定員46名

- ・デイセンターおおそ（生活介護事業）※定員50名

- ・グループホームなかい（なかい、さくら）※定員9名

- ・ケアホームこころ（こころ、えのきど、そよかぜ、大地）※定員19名

※えのきどは保示町へ移転するため、建物を新築しました（令和3年3月完成）

- ・相談支援事業 ※延べ相談件数5,981件

- ・日中一時支援事業 ※定員15名（現在は活動を休止中）

- ・地域活動支援センター ※延べ利用者数 981名

(2) 外出支援サービスの実施

車イス等で外出する方の手助けとして、車イスのまま乗車できる福祉車両での送迎と、福祉車両の貸出を行いました。

利用者数 延べ 92人 利用件数 延べ 1032回

車両の貸出し 延べ 45件

(3) 心身障害児者歯科保健指導の開催

常滑市歯科医師会にご協力をいただき、障がいをもつ方の歯科健診、歯みがき指導等をデイセンターおおそで開催しました。

(4) 声の広報の制作

ポランティアグループ「テレココ」の協力により、常滑市広報紙「広報とこなめ」を朗読し、録音したものを視覚に障がいのある方のために制作しました。

制作回数 12回

(5) 自殺予防対策事業の実施

地域での自殺予防事業として、相談事業や啓発活動などを行いました

対面・電話相談 延べ51件

女性・若者向け相談 延べ5件（「こころのきゆうけいしつ」として実施）

各種啓発事業 パンフレットの配付などの啓発活動を実施

※講演会などの啓発事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

【7】社会福祉事業の啓発（会員募集）

市内各世帯のみなさまを始め、各団体、事業所等のみなさまよりご協力をいただきました。お寄せいただいた会費は福祉活動に活用しました。

会 員 数	実 績 額
13,125 名	3,957,400 円

【8】相談事業（心配ごと相談）の実施

民生児童委員や弁護士が法的に起こる様々な相談に対応しました。

開設場所 とこなめ市民交流センター

開設回数 24回（毎月第2・4火曜日 午後1時30分～3時30分）

相談件数 29件

【9】生活困窮者支援活動・資金貸付事業

(1) 生活困窮者自立支援相談事業（くらし・ひきこもり相談支援センター）の実施

生活に困窮している方、長期間働いていない方、ひきこもりの方などの生活相談や支援を実施しました。

- ・相談者数 新規相談者実人数 414名
- ・社会的に孤立した方への生活・就業支援事業

長期間働いていない方や引きこもっている方などを対象に就労体験として延べ254名が清掃業務や農作業での補助業務を体験しました。

- ・ひきこもり支援（居場所の運営）

市民による支援ボランティアグループ「わたげの会」により、樽水地区において、当事者やその家族が参加できる居場所運営を行いました。

延べ開催回数12回、延べ参加者数(ボランティア含む)133名

(2) 行路者援助

市外へ移動する旅費などが無い方へ貸付・援助しました

(3) 資金貸付事業

一時的な生活費の貸付や学費等を目的とした貸付を行いました

緊急支援費貸付 93件 生活福祉資金貸付（通常分） 0件

(4) フードバンク事業の実施

企業や個人の方等から使用されない食料を引き取り、福祉団体や施設を通じて、生活困窮者支援や福祉団体の活動に活用しました。

延べ取扱い食品量 73.7トン（金額換算 4422万円相当）

【10】福祉団体活動支援

(1) 助成金の交付など

身体障害者福祉協会、遺族連合会、手をつなぐ親の会、BBS会、半田人権擁護委員会常滑地区委員会へ事業助成しました

(2) 遺族会活動の支援

常滑市遺族連合会の事務局として遺族会活動を支援しました

【11】収益事業の経営

活動財源確保のため、常滑競艇場等で売店経営を行いました。

- ・常滑競艇場内売店（1号食堂、4号・6号売店、自販機コーナー）
- ・各公民館など市内公共施設での飲料水自販機の設置
- ・障がいのある人の働く場として（競艇場内3号食堂）

【1 2】新型コロナウイルス関連事業

(1) 生活に支障が生じた方への支援

- ・食糧支援（フードバンクの食糧を提供しました。延べ658件）
- ・お弁当@ホーム

（学校休校中の子どもたちへ市内の飲食店のご協力により、お弁当を配付

しました。延べ250食 ※協力：常滑ロータリークラブ・常滑市老人クラブ連合会）

- ・緊急小口資金特例貸付（1世帯20万円の貸付を実施。延べ382名）

- ・総合支援資金特例貸付（1世帯月20万円の貸付を実施。延べ72名）

(2) 高齢者等の介護予防支援

- ・おうちでスマイルポイント

（自宅で運動や脳活等を促進する取り組みを実施しました。延べ512名参加）

- ・介護予防＋SDGs

（散歩しながらごみを拾う等を行い、気軽に社会貢献ができる取り組みを実施しました。）

- ・ラジオ体操サロンの

（室内で実施するサロンの活動が難しいため、屋外での短時間の交流の場の開催を支援しました。小倉・多屋・保示・古場地区で実施）

- ・感染予防講習会の開催

（サロンを運営する民生委員等を対象に消毒方法等を学ぶ講習会を2回開催）

(3) その他

マスクポストの実施（市民へ使われていないマスクの寄付を呼びかけました）

- ・期間 令和2年6月～7月（公民館等市内5ヶ所へポストを設置）

- ・寄付枚数 1108枚

※マスクは今後の災害時や高齢者等へ必要とする方へ配付するため保管